

生涯学習情報誌

Life Learning

6 2018
Jun.
NO.334



祝

2018年2月 東京大学博士号(学術)取得

駒井睦子 さん(取得時53歳)

【論文テーマ】アルフォンシーナ・ストルニの詩の道程 — モデルニスモから前衛、アンティソネットの創造へ —

10年かけて詩の素晴らしさを伝えられる自信がついた。やって良かった

■日本ではほぼ唯一のストルニ研究者

「アルフォンシーナ・ストルニ」を検索してみる。20世紀初頭のアルゼンチンの女性詩人で、46歳で海に入水自殺。それを受け作られた「アルフォンシーナと海」という名曲が、今も多くの演奏家にカバーされている。ネットの日本語で得られる情報はそれくらいだ。ただし、駒井睦子さんの考察を除いて。

駒井さんは、1988年から5年間アルゼンチンに住んだのを機に、ずっとスペイン語に触れ、もし勉強し直すなら、アルゼンチンからテンアメリカ諸国の詩人について研究しようと決めていた。

「始めはストルニをよく知らなかったのですが、日本に戻って清泉女子大学に3年次編入した際、ラテンアメリカ研究の一人者・杉山晃教授に相談し、何人か候補を挙げていただいた中にストルニがいたのです。ストルニは、父親が亡くなって生活が苦しい中、自力で進学し教員免許を取るなど、若くして苦勞をします。そんな中、文学の素養はないにもかかわらず詩を書きます。そして、シングルマザーの道を選び、乳がんによる乳房切除といった女性ならではの苦難にも遭遇しながら、詩を書き続けた彼女の人生に心を惹かれたのです」

■10年かけて本当の良さを理解できた

東京大学大学院では、地域文化研究を専攻し、文学を通して地域を見る、地域を通して文学を見るといった位置づけで、ストルニの研究を深めた。ストルニは、アルゼンチンやラテンアメリカ、そしてスペインでも、知らない人はいないくらい有名な。し

かし日本では深く研究された前例はない。

「作品分析を中心に、彼女の全体像を掴むことをしました。全創作期間を対象に、作風の変化、周囲の作家から受けた影響などを調べ、変化しながら辿り着いた創作は何だったのかを考察しました。懸命に生きて詩を書くうちに無意識に生き様が詩に投影され、独自のスタイルが確立されました。最終的には詩を通して自己の開放に向かっていたのです。最初は詩人としては下手かとも思ったこともありましたが、10年やってきて本当の良さがわかりました」

■博士号は無理だと思っていた

「大学院に入った当時は、博士号まで行けるとは思っていませんでした。東大の学生は知識があるだけでなく、発想が豊かで視点も多角的。ずっと劣等感を抱いてたんです。ですが、周りの若い学生たち



「やると決めたらやるしかない。やらない言い訳はたくさんできますが、やれるのは貴方しかいませんよ」

が『駒井ねえさんはいつ書くの』と、当然のように言ってくれて、自分も書かなければと思うようになりました。後はもう意地ですね。財団の支援事業仲間とも励ましあって書きました。いくつかの大学でスペイン語の非常勤講師をしていたので、隙間の時間にいろんな場所で書いていた記憶があります」

■未成熟な日本のジェンダー意識を変えたい

実績が評価され、4月から専任講師のイスを得たが、学生には博士号取得は伝えていないという。

「ようやく研究者らしくなったとは思いますが、松田理事長がおっしゃるとおり、博士号取得はスタートです。日本にはスペイン語文学の研究者は少ないので、その部分で貢献しつつ、スペイン語の論文発表によって海外の研究者との共有を進め、続く研究者の踏み石になればと思います」

今後もスペイン語圏の文学を中心に、男女を問わず詩の研究を進める。現在、ウルグアイのデルミラ・アグステイニという女性詩人の研究をしており、6月に学会発表をする予定だ。

「ストルニがフェミニズム的な詩を書いてきたこともあり、研究の延長として、日本のジェンダー意識を変えたいという思いがあります。男女平等度が144か国中114位で、先進国中最下位だとか、昨今の政治家や官僚のセクハラ報道とか、社会の未成熟さを思わされます。そのほとんどは男性が既得権や支配権を守ろうとすることから来る問題ではないでしょうか。私は草の根からしかできませんが、少しでも周りに訴えていきたいと思っています」

中国には古くから箏^{ソウ}と琴^{キン}という2種類の楽器があり、奈良時代の頃に日本に伝わった。そのころは、弦を張ってある楽器を全て琴^{キン}と呼んでいたが、平安中期頃から、琴^{キン}、箏^{ソウ}、琵琶^{ヒバ}に分化していった。

箏は、多本数の弦を張り、あらかじめ柱を立てて音程を決めた弦を弾いて演奏するが、琴は三味線のように指で弦を押さえることで音程を変える。一弦琴^{いちげんきん}、須磨琴^{すまごきん}、二弦琴^{にげんきん}、大正琴^{たいしやうきん}などがある。

箏は、最初は雅楽の合奏の中で使われ、楽箏^{がくそう}と呼んだ。全長約190cmの桐材をくり抜いた中空の胴に、13本の絹弦を張る。楽箏は旋律は演奏せず、管楽器^{りやうぐさき}（竜笛^{りゆうてき}、簫^{しょう}、笙^{しょう}）の旋律に沿って決まったりズムを刻む、打楽器的な役割に徹している。その後、近世の箏になると、主に地歌の世界で華麗な奏法を取り入れた楽器として発達する。

江戸時代になると独奏や三味線などとの合奏も盛んになり、様々な流派が生まれた。流派は、大きく分けると上方で生まれた生田流と、江戸で生まれた山田流があった。生田流では角爪を用い、箏に対して45度に構えて演奏するのが特徴、一方、山田流では丸爪を用いるため箏に正対する。いずれも、右手の親指、人差し指、中指の3本にはめて演奏する。

新しい調弦や曲目をつくり、箏曲を盛んにした人物として八橋検校の名が知られている。

箏

Soh

ようこそ！
和楽器の
世界へ 一

爪の素材は、楽箏では竹、生田流や山田流は象牙（自然死した象などから合法的に得られたもの）が多い。写真は生田流の角爪。

奏者に聴いたその魅力

市川 慎

Ichikawa Shin



「AUN Jクラシックオーケストラ」メンバー。第7回長谷校校記念全国邦楽コンクール最優秀賞。文部科学大臣奨励賞受賞。2004年和楽器ユニット「ZAN」のメンバーとしてエイベックスよりメジャーデビュー。浜崎あゆみ、EXILE、石井竜也などのCD、ライブ参加。平成15年度秋田県芸術選奨受賞。第59回全国植樹祭において御前演奏。「箏衛門」「蝶組」「ZAN」「WASABI」メンバー。清絃会副会長。

私の家は代々、生田流の家元だったので、子供の頃は女性が弾く楽器と感じていて、箏には興味が湧きませんでした。高校の時、ロックバンドでエレキギターを担当していて、ギターでやっているカッコよさを、箏でもやれるのではと、ふと気付いたのです。それを機に本気で取り組んでみようと思い、沢井忠夫先生の内弟子として4年間修行し、その後自分の活動を始めました。

●知ってほしい箏の魅力は？

和音を出せるのが大きな特徴だと思います。お正月のBGMなど古典的な音色をイメージする方

が多いと思いますが、現代の洋楽器ができることは、だいたいできる楽器なのです。その辺は、あまり認知されてないと感じています。

箏（13弦）は比較的高い音域が出せる楽器で、低い音域が出る17弦箏と組み合わせると、面白い演奏ができます。AUN・Jでやる場合は、管楽器がメロディを演奏し、その間を箏が紡いで、さらに下のベース的なラインとして17弦箏ということが多いです。

着物を着て正座で演奏することの多い古典音楽も、それはそれで文化として残さないといけないと思います。ただ、現代から見ると古典なのですが、当時は最先端の音楽だったはず。古典音楽の中の箏だけではなく、時代と共にできてきた新しい音楽の中でも箏を活かしていかないと、演奏する人も減ってしまいます。

今は自分たちの音楽を作って、多くの方々の共感を得ることができたと感じています。ロックのような曲や、洋楽器との共演など、いろいろな演奏にチャレンジしています。



胴の材質は桐で中は空洞。弦は絹糸をより合わせたものだったが、切れやすいため最近は合成繊維が多い。



箏は柱の位置によって、どのような音階にもアレンジすることができる楽器だ。



♪音を聴いてみよう！

生涯学習開発財団のWEBサイトで、箏の音色が聴けます。

<http://www.gllc.or.jp/>

または、左のQRコードからどうぞ。

●AUN 公演情報

AUN J クラシック・オーケストラ 生音ライブ 2018

日時 2018年6月30日土 15:00開演

会場 表参道・銀仙会能楽研修所（東京都港区南青山4丁目21-29）

チケット 全席自由 ¥5,000（税込・整理番号有）

AUN J クラシック・オーケストラ CONCERT 2018

日時 2018年7月10日火 18:30開演

会場 久喜総合文化会館（埼玉県久喜市下早見140）

チケット 全席指定 ¥5,000（税込）

日時 2018年7月11日水 18:30開演

会場 熊谷文化創造館さくらめいと（埼玉県熊谷市拾六間111-1）

チケット 全席指定 ¥5,000（税込）

詳細：<http://www.aunj.jp/jpn/livedisc/liveinfo/schedule.html>

問い合わせ：MIN-ONインフォメーションセンター TEL:03-3226-9999

●監修者：AUNプロフィール

井上公平・井上良平。1969年大阪にて5人兄弟の末の双子として生まれる。1988年、和太鼓集団・鬼太鼓座（おんどご）に出会い、高校卒業と同時に入座。2000年に「AUN」として独立。2009年、邦楽界で活躍する若手を集めて「AUN-J クラシック・オーケストラ」を結成。公演回数は国内外で1400回以上。子どもたちに日本文化の魅力を伝えるため、全国の小学校を訪問し、和楽器演奏と桜を植える活動もしている。



ザ・シチズンズ・カレッジ共催講座

3月7日 銀座フェニックスプラザ

ミツバチの生態に学ぶ、働き方とは
ビジネス環境の創造講師
・田中 淳夫

1957年生まれ。2006年春「銀座ミツバチプロジェクト」を共同で立ち上げ。現在、(株)紙パルプ会館専務取締役、NPO法人銀座ミツバチプロジェクト理事長、(農)株式会社銀座ミツバチ 代表取締役

銀座のビルで養蜂。読者の皆さんも一度は耳にした話題だろう。実は、ザ・シチズンズ・カレッジが開催されるフェニックスプラザの屋上が、その舞台なのだ。

「平成3年にこのビルを新築した際、情報発信の場にした」と考え、さまざまな勉強会を開いていました。その中で、屋上で養蜂ができるという話に出会ったのです。『銀座のビルでやったら面白いな、うちの屋上を貸してもいいかな』くらいで話していたのですが、なぜか自分でやる羽目になりました。銀座のバーテンダー、クラブのママ、パティシエたちが背中を押してくれて、勉強会に参加した人たちにも声をかけて、2006年春に『銀座ミツバチプロジェクト（銀ばち）』ができました。始めた以上はいかに継続するかということで、NPOや農業生産法人にして、いろんな活動をしながらかやってきたわけです」

今回のテーマ、ミツバチの生態に学ぶ。卵から約3週間で成虫になり、最初の3日間は巣の掃除をする。新人は掃除からというわけだ。4日目から1週間ほど育児や女王蜂のお世話、さらに10日ほど給餌、巣作り、花粉の貯蔵などを担当する。その後、飛ぶ練習をして、いよいよ花粉や蜜を集め



に飛び立つ。企業で言えば、研修や内勤を経て外回りの営業に変わる感じだ。

観察していると、女王蜂が元気がどうかでその群れの状態がわかるそうだ。女王が出すフェロモンを働きバチが吸うことで群れ全体に安心感が広がるが、女王のフェロモンや産卵が弱つてくると、働きバチたちが噛みついて、女王は巣の外に出て死んでしまうという。女王蜂は強権を持つオーナー社長ではなく、雇われ社長と同じで、業績が悪ければクビになってしまうのだ。

実は、働きバチはみんなメスで、女王を含めて女性社会である。攻撃用の針はメスにしかなく、蜜や花粉を集めに行くのもメス。オスの仕事は子孫を残すことで、女王蜂が結婚飛行したときに、一番のりのオスだけが交尾をし、すぐに死ぬ。他のオスも産卵期を過ぎると不要になり、巣の外に追い出される運命だ。

銀座の1.5キロ圏内には皇居や浜離宮、日比谷公園がある。銀座にもさまざまな街路樹があり、近くで蜜を採れる好環境なのだ。他のビルでも養蜂が始まり、蜂蜜の収穫量は2006年の150kgから、昨年は2100kgと順調に増加している。蜂蜜として販売される他、銀座の老舗や有名メー

カーが、こだわりのお菓子や飲み物として商品化してくれている。

プロジェクトでは養蜂から派生したさまざまな社会活動を行う。近郊のミツバチの巣を回収し、飼育や欲しい人に分けるミツバチレスキュー。在来種であるニホンミツバチの飼育。小中学校への出前授業。全国のがんばっている生産者を応援するファーム・エイドは、銀座の街を賑わせるだけでなく、多くの人が里山の保存や食料問題を考える機会にもなっている。地方にも出向き、地域間交流を刺激する。震災後には全国のミツバチプロジェクトが避難所を訪問した。銀座のビルの屋上に花や野菜を植えるビーガーデン活動は、ミツバチのために留まらず、屋上緑化や壁面緑化として、ヒートアイランドや環境負荷を緩和する大きな動きにつながっている。

「ミツバチは常に自分の立ち位置を理解し、短い命を次の世代へ繋ぐために働きまわす。女王蜂が1日に2000個の卵を産み、ほぼすべてが育つのは、集団の力によるものです。ミツバチから学べるものがたくさんあると思います。」

始めてからの13年間、その時々課題に向き合い、振り返ったさまざまなご縁と活動が広がっていました。しかし、銀座ファルターと言われるものがあって、良いものだけが残るのだそうです。私たちも、事故などがあると続けられなくなります。そうしたことも常に念頭に置き、今シーズンも進めていこうと思っています」